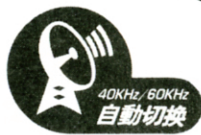


# 5622 コンパクト電波時計オート

## 取扱説明書

STERLING CLUB®



## 製品仕様

- 精度：平均月差±30秒  
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度：±1秒(内部回路や液晶の反応時間に多少の誤差が生じる場合があります)
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃ ただし、表示判断可能温度範囲 0℃～+40℃
- アラーム：電子音アラーム 1分間オートストップ 約5分スヌーズ、デイリーアラーム機能付(翌日も同じ時刻にアラームが鳴る)
- アラーム精度：表示に対し±0秒
- カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日フルオートカレンダー
- 使用電池：単4電池1本(付属)
- 電池寿命：約1年(アラームを1日1回、使用した場合)
- 電波受信機能：自動受信は毎日、午前1時と4時に行います。(時計表示上の時刻にて)

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 電波時計について

### ●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

### ●標準電波とは

独立行政法人通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、福島県(40kHz)と佐賀県(60kHz)で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保持「セシウム原子時計」によるものです。

### ●電波受信について

送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000～1200kmです。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

#### 〈ご注意〉

- ※標準電波は、毎時15分と45分の各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。
- ※電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

### ●使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

※ビルの中、ビルの谷間、地下。※高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。※テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。※工事現場、空港の近くや交通量の多い所など、電波障害の起きる所。※乗り物の中(自動車、電車、飛行機など) ※スチール机等の金属製の家具の上や近く。



### ●電波時計のしくみ

超高精度のセシウム原子時計を源とする時刻情報を持つ標準電波を受信し、現在時刻を表示します。



## 使用場所・お手入れ方法

■使用場所：つぎのような所では、使わないでください。

●温度が $-10^{\circ}\text{C}$ （氷点下10度）以下になる所 ●温度が $+50^{\circ}\text{C}$ （50度）以上になる所。例えば、直射日光が当たるところ、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、その他火気に近い所 ●浴室など湿気の多い所 ●強い磁気や振動がある所 ●電波ノイズを発生させるものの近く

■お手入れ方法：日常の手入れの仕方

●わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。 ●よこれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。 ●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。 ●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

## 液晶パネルについて

●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。 ●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。 ●温度が高くなるとパネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。 ●パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

●液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になった時は、それぞれの応急処置を行ってください。

※皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。

※目に入った場合：きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

※飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の手当てを受けてください。

## ご使用方法



### 1 電池を入れる

- 付属の単4乾電池1本を本体裏側の電池ケース蓋を開いて入れてください。(+, -の方向に注意してください。)
- 正しく通電すると「ビビビッ」と音が鳴り液晶表示が出ます。(1月1日、12:00と表示され秒が進んでいるはずです。)
- 表示画面下、一番右端の「受信」ボタンを1度押しと、画面右上角に受信状態を示すアンテナマーク(📶)が表れます。受信状態が良好な場合、4本の電波マークが点滅し、受信を開始します。
- 野外、庭先、ベランダ、空の見える窓際など受信環境の良い場所で5～12分程度で受信に成功するはずです。
- 受信に成功するとアンテナマークが点滅から、すべて点灯状態(📶)に変わります。時/分/秒、月/日/曜日が正しく表示されているはずです。(受信できない場合はアンテナマークがすべて消滅します。)

### 2 受信に成功しない場合

- 場所を変えて再度「受信」ボタンを押してしばらくお待ちください。
- それでもうまく受信できない場合は手動で時刻、年/月/日を合わせてください。(次項③参照)
- 一度受信に失敗した場所でも、翌朝に成功している場合もあります。(夜中は上空の電離層の状態が良くなりますので受信の可能性が大きくなります。)
- また送信局のメンテナンス工事などで送信が中断している場合もありますので、ご了承ください。(通常受信している場所でも、その時には受信できません。)

### 3 手動での時刻合わせ

電波がうまく受信できない場合は、手動で時刻、年/月/日を合わせることができます。

※この時電波マークが点滅していない事を確認してください。(受信中はボタンが機能しませんのでご注意ください。)

- **設定** ボタンを3秒程押しすと、「西暦年」が点滅しますので、**調節** ボタンで合わせてください。(曜日は連動して変わります。)
- 次に **設定** ボタンを押すと「月」が点滅します。**調節** ボタンで合わせてください。
- 同様に **設定**、**調節** ボタンで「日」→「時」→「分」→「ゼロ秒」を合わせてください。
- 最後に **設定** ボタンで通常表示に戻ります。

※ 時刻は12時間制です。「午前」「午後」の表示が出ます。

### 4 アラームの設定

- ① **アラーム** ボタンを3秒程押し続けると「ビッ」と鳴って、画面右下の「時」が点滅します。
  - ② **調節** ボタンを押して「時」を合わせてください。
  - ③ 再度 **アラーム** ボタンを押すと「分」が点滅します。**調節** ボタンで「分」を合わせてください。
  - ④ 最後に **アラーム** ボタンを押して時/分設定が終了です。
  - ⑤ **アラーム** ボタンを1回短く押しと、画面右上にアラームマーク ((●)) が点灯します。これで設定時刻になるとアラーム音が鳴ります。
  - ⑥ 再度 **アラーム** ボタンを押すと秒表示下に **Zz** のマークが表れます。これは「スヌーズマーク」でアラームを止めた後でも5分後に再びアラーム音が鳴り、居眠り防止機能を意味します。
- ※ 一度アラーム音を止めた後、うっかりまた寝てしまう事を防止するために、この設定をしておく事をお勧めします。(次項 5-①参照)
- ※ アラーム設定を解除するときは **アラーム** ボタンを1回押ししてください。((●))、**Zz** マークがすべて消滅し、アラーム・スヌーズ解除となります。これでアラーム音は鳴りません。

注：翌日も同時刻にアラームを鳴らしたい場合は解除しないでください。

### 5 アラーム音の止め方

◎スヌーズ設定している時：((●))、**Zz**

- ① 本体上部の **SNOOZE / LIGHT** バーを押すと音は一旦鳴り止みますが、約5分後に再び鳴ります。(居眠り防止機能)アラーム音は5分毎に繰り返され、スヌーズ機能が有効な間、**Zz** マークは点滅しています。
- ② アラームを完全に止めたい場合は、画面下4つあるボタンのいずれかを押してください。

◎アラーム設定のみの時：((●))

どのボタンおよび **SNOOZE / LIGHT** バーを押しても鳴り止みます。

### 6 西暦年の確認

通常表示の時に西暦年を確認したい場合は **設定** ボタンを、1度押ししてください。西暦年が表示され、約4～5秒で自動的に通常表示に戻ります。

### 7 バックライト

通常表示の時、本体上部の **SNOOZE / LIGHT** バーを押すと、画面右横部分からバックライトが約5秒間点灯します。暗闇で時刻表示を確認したい時に便利です。